

## 財務諸表に対する注記

### 1 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法  
該当なし。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法  
原価基準及び個別法
- (3) 固定資産の減価償却の方法  
定額法
- (4) 引当金の計上基準  
該当なし。
- (5) リース取引の処理方法  
所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産  
リース期間を耐用年数とし、残存価額を0とする定額法を適用
- (6) 消費税等の会計処理  
当期も本則課税を選択し、課税仕入れ税額は個別対応方式を適用

### 2 会計方針の変更

変更はない。

### 3 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	15,000,000	0	0	15,000,000
小 計	15,000,000	0	0	15,000,000
特定資産				
機械設備類取得資金	10,172,100	1,500,000	0	11,672,100
退職給付引当金	1,283,700	353,600	0	1,637,300
小 計	11,455,800	1,853,600	0	13,309,400

### 4 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産の財源等内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対 応する額)
基本財産				
定期預金	15,000,000	(15,000,000)	(0)	-----
小 計	15,000,000	(15,000,000)	(0)	
特定資産				
機械設備類取得資金	11,672,100	(0)	(1,500,000)	-----
退職給付引当金	1,637,300	(0)	(353,600)	-----
小 計	13,309,400	(0)	(1,500,000)	

### 5 担保に供している資産

該当なし。

- 6 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高  
 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。  
 (単位:円)

科	目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
車両	乗用車	1,583,081	1,583,077	4
機械	粉砕機等	7,879,802	5,772,894	2,106,908
ソフトウェア	会計ソフト	325,000	5,417	319,583
	計	9,787,883	7,361,388	2,426,495

- 7 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高  
 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりである。  
 (単位:円)

科	目	債権金額	貸倒引当金の 当期末残高	債権の当期末 残高
未収金				
	農産物販売事業売上金	129,140	0	129,140
	運営補助金	4,748,000	0	4,748,000
	地域特産物育成事業補助金	512,000	0	512,000
	特産品開発業務委託事業受託金	3,771,600	0	3,771,600
	宇津峰山麓梅林自然公園維持管理業務委託金	2,932,600	0	2,932,600
	岩瀬きゅうり担い手育成事業受託金	1,408,000	0	1,408,000
	計	13,501,340	0	13,501,340

- 8 保証債務等の偶発債務  
 該当なし。

- 9 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益  
 該当なし。

- 10 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高  
 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
運営補助金	須賀川市	0	9,495,000	9,495,000	0
地域特産物育成事業補助金	〃	0	512,000	512,000	0
地域ブランド力活用事業補助金	〃	0	618,000	618,000	0
農産物ブランド化推進事業補助金	〃	0	300,000	300,000	0
計		0	10,925,000	10,925,000	0

- 11 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳  
 該当なし。

- 12 関連当事者との取引の内容  
 該当なし。

- 13 重要な後発事象  
 重要な後発事象はない。

14 その他

特になし。